

令和5年度 小諸野岸幼稚園 「自己評価および幼稚園関係者評価」

1. 園の教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども (2) 身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども
- (3) 豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども
- (4) 自分から挨拶し、人とかかわれる子ども

2. 本年度の重点目標

「あそび」 やってみよう！みんながあそびマスター 「しぜん」 どうして？なんで？だいはいっけん！
 「おはなし」 見て、聞いて、伝えよう！ 「あいさつ」 おはよう、さよなら、ありがとう！

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

・先生方が、子ども一人ひとりの発達段階に合わせた声がけや個性を尊重して接していることを感じた。劇に子どもたちの考えたセリフを取り入れていることで、子どもたちの豊かな発想を保育に活かす、難しいけれども楽しい活動をやっていると思った。制作の部屋で子ども達の発想が飛び交っている様子が想像できてとてもうれしい。大事にしてほしい。

・保護者アンケートは多数の方が高評価であるが、それぞれの価値観を持っていて、それぞれが感じていることを知ることができて良かったのではないかと。園で行うことはしっかりできているので、送迎の仕方やマナーなど保護者の意識を高めていく必要がある。

・アンケートの結果から、職員が目当てを持って同じ方向を向いて取り組んでいることを感じる。また、子どもを大事にみていただいている。先生方も資質向上に取り組んでいることを感じた。

・園児募集について最近ポスターをあまり見かけなくなった。未就学児のイベントなどもたくさんあるのでどんどん呼びかけてほしい。また小諸周辺の市町からも希望者が増えていて、バスの停留所の問題などがあり、近隣の市町からの通園はやや不利である。口コミなどで良さを伝えているが、園の良さをどんどんアピールしてほしい。

・幼小の連携は今後、益々重要になっていく。小さなことからでも進めていきたい。

4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・活動参観後、子どもたちのあいさつや楽しそうに活動している様子にたくさんのお褒めの言葉をいただいた。これからも子ども達の笑顔を大事に取り組んでいきたい。
- ・教育課程、指導については職員一人ひとりが意識して日々の指導、保育に当たることが必要である。職員会資料、園長便り等で基本的な方針を伝えてきた。全職員が同じ方向を向いて指導にあたるよう引き続き園の方針や個々の指導について考える場面を設定し、全職員が意識できるようにしていく。また園長講話等を通して保護者へも伝えていきたい。
- ・保健、安全、組織運営などについては毎年マニュアルの見直しを行っている。今後も加除修正を行っていく予定であるが、マニュアルを大事しながらも全職員がその場に応じて適切に行動できるように日々の取り組みを充実させていく。
- ・研修では園内の研修を計画的に進めお互いに見合うことで指導力の向上に努めた。また表現力向上のために、制作の部屋の使い方や絵画や制作の指導について事務局よりアートの指導者に週1回きてもらい、子どもたちの制作意欲の向上に取り組んだ。今後も子どもたちがのびのび表現できる場と機会を大事にしていく。
- ・職員一人ひとりが、子どもたちの学びの場としての役割を自覚し、自分の保育や指導・支援の向上、組織力の向上をめざし、振り返りや研修に努める環境をつくっていく。特に週案の充実を図り保育の見直しや次へのつながりを考えられるように活用していく。
- ・園児募集についてはホームページや市役所のコーナー等を活用して取り組んで来た。近隣の市町はその地域の園との兼ね合いがあり難しいが、保護者の声などをお借りして広げていきたい。
- ・保護者や地域の実情、社会状況を把握し、少しでも子どもたちの育ちや子育てに優しい園でありたいと考える。皆さんの力を借りながら通わせやすい園をめざしていく。